

ビデオ 通信

2017 年
4 月 3 日 (月)
No.4070

月・木曜日発行
1 ヶ月 ¥11,000 (税別)
発行：飯澤 剛 編集：齋藤 浩一

ユニ通信社

〒106-0047
東京都港区南麻布 5-2-37
DEPECHE MODE 1F
TEL：03-5422-7515
FAX：03-5422-7516
E-mail：vt@uni-press.net

東映ラボ・テック

フィルムスキャナー「ScanStation」×2 式導入 国内最大級となるフィルムスキャナー×5 式体制確立 画像修復を含むアーカイブ事業を強化

東映ラボ・テック(株)はこのほど、調布本社において、ハイスピード／ハイレゾリューションに対応した Lasergraphics 社のフィルムスキャナー「ScanStation」および「ScanStation Personal」の2 式を新規導入した。これにより同社では「ARRI SCAN」「Golden Eye」「BMD Cintel」の3 式と合わせ、国内最大級となるフィルムスキャナー×5 式体制を確立し、フィルムの劣化状況に適した作業環境や狙いに応じた高精細スキャンニングの体制を拡充した。また、旧作フィルムの色彩調整および画像修復、各種フォーマットへのデータ変換、データアーカイブまでのワークフローを確立したトータルサービスとしての「アーカイブ事業」をさらに強化していく。



スキャンルーム＝モニター奥のクリーンルーム内に並ぶのが ScanStation (左が ScanStation Personal)

2 式の「ScanStation」導入



今回、新規導入したフィルムスキャナーは、5K レゾリューションのセンサーを採用した Lasergraphics 社の「ScanStation」および「ScanStation Personal」の2 式。ともに破損／丸まり／スプライスのあるフィルムに対応するスプロケット・レスのセーフ・フィルム・ハンドリングと 2D オプティカル・ピン・レジストレーションを搭載し、5.5% までのフィルム・シュリンクに対応する。

「ScanStation」(←写真) は 2K 60fps までのハイスピードで、オプティカル・ズーム機能によるハイ・レゾリューション出力に対応する。イメージのスキャンニングとサウンドトラックのリーディングを同時に行い、直接 ProRes (UHD/HD) /DPX/TIFF 等に変換(4K は 30p) する。1 回のパスで複数のファイル・フォーマットを出力

することが可能で、時間のかかるポストプロセスの短縮が図れる。

一方の「ScanStation Personal」はハイ・コストパフォーマンスのフィルム・スキャナーで、最大30fpsのスピードでフィルムをデジタル・フォーマットに直接変換することが可能。ScanStationと同様のクオリティーでイメージのスキャンニングを行い、1回のパスで複数のファイル・フォーマットを出力できる。



ScanStationのセンサー部

優れたスタビライズ機能、ハイスピードにメリット

アーカイブ事業部 スキャンンググループ課長の塩田敏広氏は〈これまでのテレシネ業務はプリントのみからのサービスでしたが、スキャンング業務はネガ原版からのスキャンが可能です。旧作フィルムはビネガーシンドロームなど経年劣化により“デジタル化は待ったなし”の状況である一方、フィルム自体のコンディションはいわゆる“ワカメ状態”であるなど歪みが生じているケース

が多いのが現状です。ScanStationはスタビライズ機能がとても優れており、画像のブレ／揺れに強く、とくに旧作のアーカイブに適しています。さらに、来るべき4K時代に向け、旧作を今のうちに4Kで残そうといったニーズが高まっています。後処理工程を考慮して（4K以上である）5Kでスキャンングできることも大きなメリットです〉とする。

また、同事業部 スキャンンググループの池田翔太郎氏は〈原版を扱うことやフィルムの状態を見ながらスキャンするため推奨スピードがありますが、それでもScanStationは圧倒的な“早さ”を実現していると考えており、大幅な時間短縮により大量受注への対応も可能と考えています。これまでもARRI SCAN/Golden Eye/BMD Cintelの3式が稼働していましたが、スキャンング需要の拡大により、スケジュール調整が厳しい面もありました。今回、5式体制になったこと、ハイスピードが特徴のScanStationを導入したことで、より柔軟な対応が可能になりました。

国内最大級のスキャナー 5 式をラインアップ

同社では、国内最大級となるフィルムスキャナー×5式体制を確立。ラインアップを拡充したことで、フィルムの劣化状況に適した作業環境や狙いに応じて、より柔軟な高精細スキャンング体制を整えた。

スキャンルーム（クリーンルーム）には、ARRI「ARRI SCAN」/Digital Vision 社「Golden Eye」/Blackmagic Design「Cintel Film Scanner」および「ScanStation」「ScanStation Personal」の5式が並ぶ。より幅広い階調を持つARRI SCANは劇場用作品など、より高画質でのスキャンングに対応す



手前が Golden Eye、シルバーと青の筐体が ARRI SCAN、その奥が Cintel Film Scanner

る一方、Golden Eye/BMD Cintel/ScanStation/ScanStation Personalは、フィルムの状態や作品の狙いに応じて使い分けていく。同社スキャンング業務は、テレビ放送向けの16mm作品／劇場公開向けの35mm作品／アニメーション作品など多岐にわたっており、スキャンングラインアッ

ブの幅を広げることで、より高いパフォーマンスを提供していく。塩田氏は〈スキニングによるデジタル化以降、最終形のアウトプットに応じてワークフローを調整することが可能と考えています〉とする。

トータルサービスとしてのアーカイブ事業をさらに強化

5 式が並ぶスキャンルームでは、ローカルストレージに大容量 DAS を装備し、DaVinci Resolve を設置するカラコレルームやレストアグループと 10Gbit でネットワーク化し、画像データの共有が可能となっている。

とくにネガの状態によりバラバラな色彩になりがちなスキャンデータは、作品ごとに統一した色彩調整を行うためのカラコレ作業が必須で、カラコレルームの DaVinci Resolve は増設を続け、4 月には計 5 式が稼働



DaVinci Resolve × 5 式が円形に並んでいるカラコレルーム



する。旧作フィルムの画像修復は、PFClean、Correct、各種フォーマットへのデータ変換は Phoenix を使用、4K から 2K/HD 作業まで柔軟に対応している(←写真)。

また、旧作フィルムのスキニングでは、想定外に劣化が進んだフィルムもあり、レストアグループやリマスタリンググループによるフィルム自体の修復も可能だ。加えて、保存用マスターデータを LTO テープ

に収録するサービスも有しており、LTO テープで納品すると同時に、Web サーバへのメタ情報／プレビューファイルの保存も行える。LTO テープは第五世代から第六世代で運用してきたが今春、新たに第七世代も対応する事になった。さらに、大泉の東映デジタルセンターとは、映像制作支援プラットフォーム「HARBOR」による専用ネットワークで接続しているため、双方での作業分担が可能となっている。

取締役 アーカイブ事業部長の大津寄宏一氏は〈当社では、60 年以上フィルムラボとしてのノウハウに加え、フィルムスキニングによるデジタル化以降についても積極的に体制を整えてきました。後処理のカラコレ作業、レストア作業の効率性も高めることで、高品質かつコストパフォーマンスの高いワークフローが提供できると考えています。今後もトータルサービスとしての「アーカイブ事業」をさらに強化していきます〉としている。

◇東映ラボ・テック <http://www.toeilab.co.jp>
東京都調布市国領町 8-9-1

TEL03-3430-3311 (業務グループ)

◇連絡先：東映ラボ・テック銀座営業所

東京都中央区銀座 3-14-1 銀座三丁目ビル 6F

TEL03-5148-5600



左から塩田敏広氏、大津寄宏一氏、池田翔太郎氏

FILM SCANNER LINEUP

NEW ■ Scan Station

NEW ■ Scan Station Personal

■ ARRI SCAN

■ Golden Eye

■ Blackmagic Cintel

映像遺産を未来につなげる最先端アーカイブワーク

60年以上にわたりフィルム作業に携わった『信頼と実績』で、
貴重なフィルム映像を甦らせます。
クオリティ&ボリュームともに充実

ScanStation™
MOTION PICTURE FILM SCANNING SYSTEM



ScanStation™
Personal



東映ラボ・テック株式会社
—TOEI LABO TECH CO., LTD.—